

## ID&Eホールディングス 環境管理に関する行動ガイドライン

ID&Eホールディングス・グループ（以下ID&Eグループ）は、「環境活動方針」に基づいて、グループ全体でサステナビリティ経営の観点から環境に配慮した企業活動を進めるための共通事項として、「環境管理に関する行動ガイドライン」を定めます。

### 1. 基本認識

ID&Eグループは、グローバルに活動する企業として、国際的な規範や各国の環境規制などを理解し、関係する国や機関、住民との信頼関係を大切にしながら、社会や自然と調和した技術サービスや製品の開発・提供に努めます。その中で、持続可能な地球環境の保全と改善に貢献します。

### 2. 環境マネジメントシステムとの連携

環境マネジメントシステムは、環境分野におけるサステナビリティ経営を実践するうえで、高い親和性を持つ仕組みです。ID&Eグループは、両者を相互に補完し合う関係と位置づけ、企業経営と環境保全への取り組みに関する説明責任を果たしていきます。

### 3. 環境・社会への配慮

ID&Eグループの各社が国内外の事業に関わる場合には、地域の自然環境や社会環境に応じたきめ細かな配慮や環境保全対策を、発注者やビジネスパートナーに対して積極的に提案します。それにより、事業が及ぼす環境負荷の低減を目指します。

### 4. ステークホルダーとの信頼関係の醸成

ID&Eグループは、環境活動に関わるステークホルダーとの対話を重ねながら、環境課題への取り組みに関する方針、行動計画、目標、各種データを適切に開示します。こうした継続的な対話と情報開示を通じて、ステークホルダーとの信頼関係を着実に醸成していきます。

### 5. 環境意識の向上

すべての役員・従業員に対して継続的な環境教育の機会を提供し、環境に対する理解と責任を高めていきます。そして、一人ひとりが地球の未来を支える存在であることを意識して、日々の業務や日常生活でも環境への配慮を実践していきます。

### 6. 各環境課題への包括的な取り組み

気候変動や脱炭素、生物多様性、循環型社会の実現、地域社会や文化への配慮といった環境課題は、対象領域が年々拡大し、相互に影響し合う度合いも高まっています。ID&Eグループは、これらの課題が互いに連動していることを踏まえ、各課題解決への取り組みが、全体として相乗効果を発揮できるよう、包括的かつ統合的な取り組みを推進していきます。

策定 2024. 5. 15

改訂 2025. 5. 27

2026. 3. 19